



宮城県議会議員
ます和也

県政報告



仙南の地域医療について。

宮城県議会令和2年2月定例会、2月27日の本会議一般質問において「仙南の地域医療」「(仮称)新・宮城の将来ビジョン骨子」について質問いたしました。

Q1 国が地域病院機能の再編統合を進める「重点支援区域」に仙南区域が選定された。公立刈田総合病院とみやぎ県南中核病院の機能分化に係る県の役割はどうか。支援内容やメリット、デメリットはどうか？

A1 東北大と県で更なる機能分化・連携を進めるプランを提案し、地域の医療関係者との協議を進めている。メリットとして財政的支援の他、経営環境に対するデータ分析、助言などがあげられる。住民の理解のもと連携強化が加速していくものとする。

Q2 公立刈田総合病院とみやぎ県南中核病院の統合によって経営が改善されるのか、また累積赤字を抱える2病院の経営統合となると県の経営参加がなければ実現は難しいと思うがどうか？

A2 両病院の連携を徹底していくことが必要だ。統合が実現されれば、医療従事者の柔軟な配置、事務の効率化、の調達の面で利点がある。設置主体の市町の意向確認が課題と捉えている。

Q3 みやぎ県南中核病院は慢性的な看護師不足になっている。看護師養成所卒業生の県内病院への就職率が低調とのことだが、看護師不足の解決策と卒業生の県内定着率向上について具体的な施策は？

A3 仙南地域を含む特定の地域に手厚い修学資金制度を新設したほか、県内就業促進は看護師等養成機関連絡会議を設置し看護学生にナースセンターへの早期登録を呼びかけるなど、関係機関と連携を密にしていきたい。

Q4 仙南医療圏における年間分娩取扱件数 970 件のうち 300 件を取扱う「みやぎ県南中核病院の分娩中止」は、地域住民や地域社会に与える影響が極めて大きい。医療機関に対する知事の積極的な働きかけなど早急な対応が必要と思うがどうか？

A4 東北大学医学部に対し産科医の配置を強く働きかけた。ドクターバンク応募医師の勧誘、県外から転入する産科医師に対する奨励金の大幅な拡充、東北医科薬科大学の宮城枠に係る特定診療科の指定などできる限りの対応をする。



新型コロナウイルスについての問合せ先

健康相談窓口 (24時間コールセンター) ▶

TEL

022-211-3883
022-221-2882

聴覚や言語に
障害のある方の相談窓口 ▶

健康相談票 (宮城県 HP よりダウンロード可)
にご記入の上、
FAX またはメールでお送りください
※ 24時間対応ではありません。

FAX : 022-211-3192

E-mail :
sodan-corona
@pref.miyagi.lg.jp



宮城県
新型コロナウイルス感染症対策サイト

新・宮城の 将来ビジョンについて。

Q5 宮城県民も市町村も地方創生と連動した富県共創戦略の恩恵は得られたのか？

A5 「企業誘致による産業集積」「民間活力を活かした地域産業振興」により県内総生産の増加や雇用機会の創出などの成果が出てきている。県内各市町村においても「賑わいや交流の拠点整備」や「古民家等を活用した商店街再生」など実を結んできている。

Q7 仙台都市圏への一極集中を是正するため、各圏域の地方都市に都市機能を構築し多極分散型の県土形成を目指すべき。今後の県土づくりの理念や方向性、具体的な戦略・戦術を将来ビジョンで示してはどうか？

A7 これまでも、各圏域の中核都市が近隣市町と連携しネットワーク化することにより活力ある社会経済を維持するための拠点化を支援してきた。人口減少が進む中で県全体の持続可能性を高めるためには、仙台都市圏が有する都市機能を県内の各地で活用しながら他の市町村が持つ資源や機能を充実強化させることでお互い発展していくことが重要である。

Q6 県と市町村が協力して広域圏ごとの地域ビジョンや戦略をまとめ、地域課題の解決に向けて共同歩調をとるべきと考えるがどうか？

A6 次期総合計画には広域圏ごとの地域ビジョンの策定は想定していないが、様々な機会を通じ市町村からの意見を伺うように努める。市町村それぞれの課題や広域的課題について対話を積み重ねていく。

Q8 都市計画道路小池石生線のバイパス整備、国道286の支倉道路改良事業、H21年度から事業を開始し未だ載荷盛土状態の蔵王大河原線の新寺道路改良事業の完成時期について、実施計画への明記と併せてどうか？

A8 用地買収や拡幅工事など鋭意進めているが、用地交渉や今後の予算の見通し、施工方法など、事業を進める上での課題があることから現時点で完成時期を示すのは難しい。令和3年度以降の「新みやぎの道づくり計画」を策定している中で、その中で具体的な工程計画の検討を進める。

※その他、仙南地域の諸課題について質問いたしました。

台風19号による被害状況を視察。

丸森町ボランティアセンター、阿武隈急行の被害状況を視察し、超党派の議員で要望書を提出しました。



本会議一般質問映像はこちらからご覧いただけます。



新型コロナウイルス対策チームを立ち上げ。

みやぎ県民の声「新型コロナウイルス感染症対策プロジェクトチーム」では皆さまからのご意見をお聞きし、対策を進めています。



所属会派 **みやぎ県民の声**
The voice of Miyagi



3月17日に「新型コロナウイルス感染症対策に対する要望書」を村井知事へ、4月6日には「県立学校の休日延長等に関する要望書」を伊東教育長宛に提出しています。

皆さまの声を県政にとどけます。

【報告者】

みやぎ県民の声 **ます和也**

【所属委員会】

経済商工観光委員会／自然災害対策調査特別委員会

〒989-1224 柴田郡大河原町金ヶ瀬字川根 239-3

TEL : 0224-52-3463

FAX : 0224-52-3463

Email : kayu2934@yahoo.co.jp

facebook▶

